

目を癒す販促ツールに

眼精疲労予防ソフト
「ストレッチアイalamode」
オリジナル映像制作のご提案

2008年8月吉日

株式会社ソフタシア



はじめに

会社、学校、家庭に至るまで、今やどこにいてもパソコンに接する時代となりました。

弊社では、1997年頃からパソコンによる眼精疲労が深刻な社会問題であることに着目。中央労働災害防止協会VDT研究会でVDT指針作りの中心人物である眼科医の宮尾克先生らとの共同研究により、1998年、世界初の眼精疲労予防ソフト「ストレッチアイ」を発表しました。ステレオグラムの手法でパソコン上の映像を見るだけで目の疲労緩和効果があり、その実証結果は日本眼科学会で発表、関連技術は特許出願済みです。

このソフトの出荷は、数千本規模の企業導入やパソコンへのバンドリング等により、累計約1千万本に達しました。

この度リリースした最新版「ストレッチアイalamode」は、アルファチャンネル付き32ビットカラー画像採用によってエッジのなめらかな高画質を実現するとともに、CPUやメモリ負荷を軽減する新ロジックにより、飛躍的に品質の高い映像に生まれ変わりました。

さらに、映像のカスタマイズ対応も考慮した設計とし、ご希望に応じオリジナル映像を制作することが可能です。

貴社の製品PR用のダウンロードアイテムとして、「ストレッチアイalamode」オリジナル映像制作をご検討賜りたく、ご提案申し上げます。

「目を癒す」とは

- パソコンで目が疲れる原因 = 至近距離を長時間見続けること
- 遠くを見ればよい? ... 狭いオフィスではそうもいかない
- 目を閉じればよいのでは? ... 3m程度先を見る状態にしかない
- 癒すためには⇒遠くと近くを交互に見る → 毛様体筋のストレッチ運動

「ストレッチアイ」は、目のストレッチ運動をパソコン画面上で実現します。

1998年、名古屋大学・宮尾克教授、金沢医科大学・中石仁講師(いずれも当時)の両眼科医による検証実験にて効果を証明しました。国内外の労働衛生学会、人間工学会、日本眼科学会で発表されました。

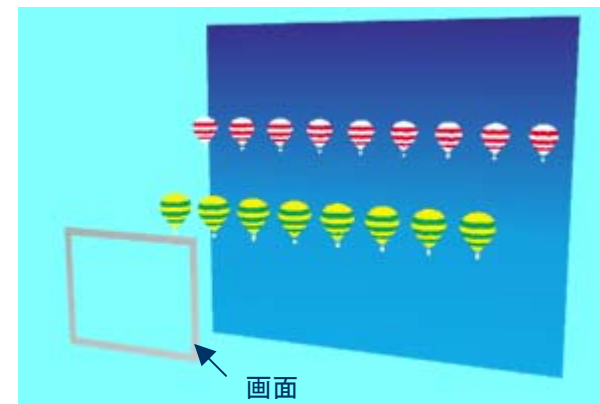
関連技術は特許出願・公開中です。(特願平11-124740 特開2000-315076)

平行法立体視による仮想空間



この映像を平行法立体視すると、

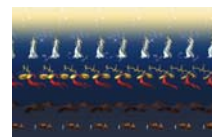
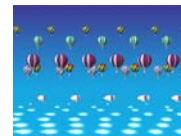
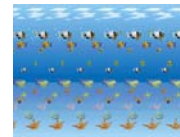
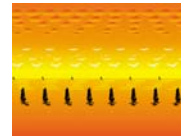
このように立体的に見えます



この例では、気球が遠ざかって消え、また現れては遠ざかって消えます。
この映像を眺めていると、目が遠くと近くを繰り返し見る状態になります。
※左右の視力差が大きい人や、強い乱視の人は、無理な立体視は避けましょう。

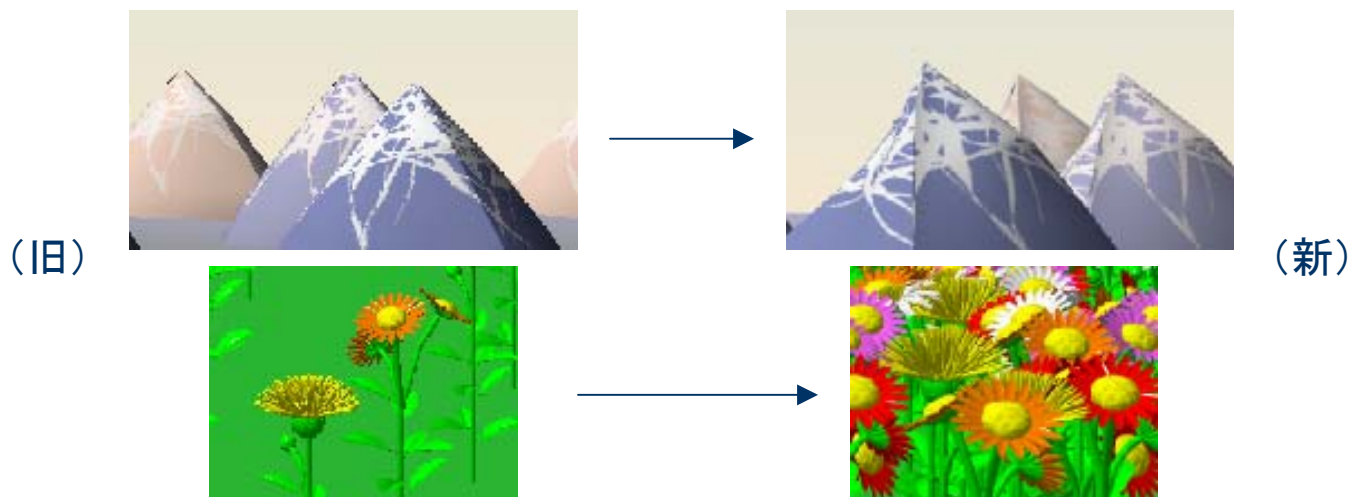
「ストレッチアイ」シリーズの歴史

- 1998年「ストレッチアイ1.2」
 - 16色、4コンテンツ
 - NECパソコンに標準搭載開始
(以後2008年春まで各バージョンを継続搭載)
- 2000年「ストレッチアイPremium」
 - 256色、8コンテンツ
- 2003年「ストレッチアイHyper」
 - フルカラー、4コンテンツ
- 2006年「目に効く四季彩」「目に効く星物語」
 - インターチャネル社より発売



最新版「alamode」登場

- 2008年「ストレッチアイalamode」
 - フルカラー、アンチエイリアス、 α 値処理による高品質グラフィック
 - メモリ使用効率の向上、CPU負荷軽減



オリジナル映像制作について

- 無償配布する場合（販促ツールとして）
 - 新規にコンテンツを制作します。
 - デザイン費、カスタマイズ費をいただきます。
- 販売する場合（映像商品として）
 - 新規にコンテンツを制作します。
 - デザイン費、カスタマイズ費のほか、販売金額に一定の割合を掛けたライセンス料をいただきます。ライセンス料はミニмумギャランティ(最低販売数のライセンス料)を設定させていただきます。

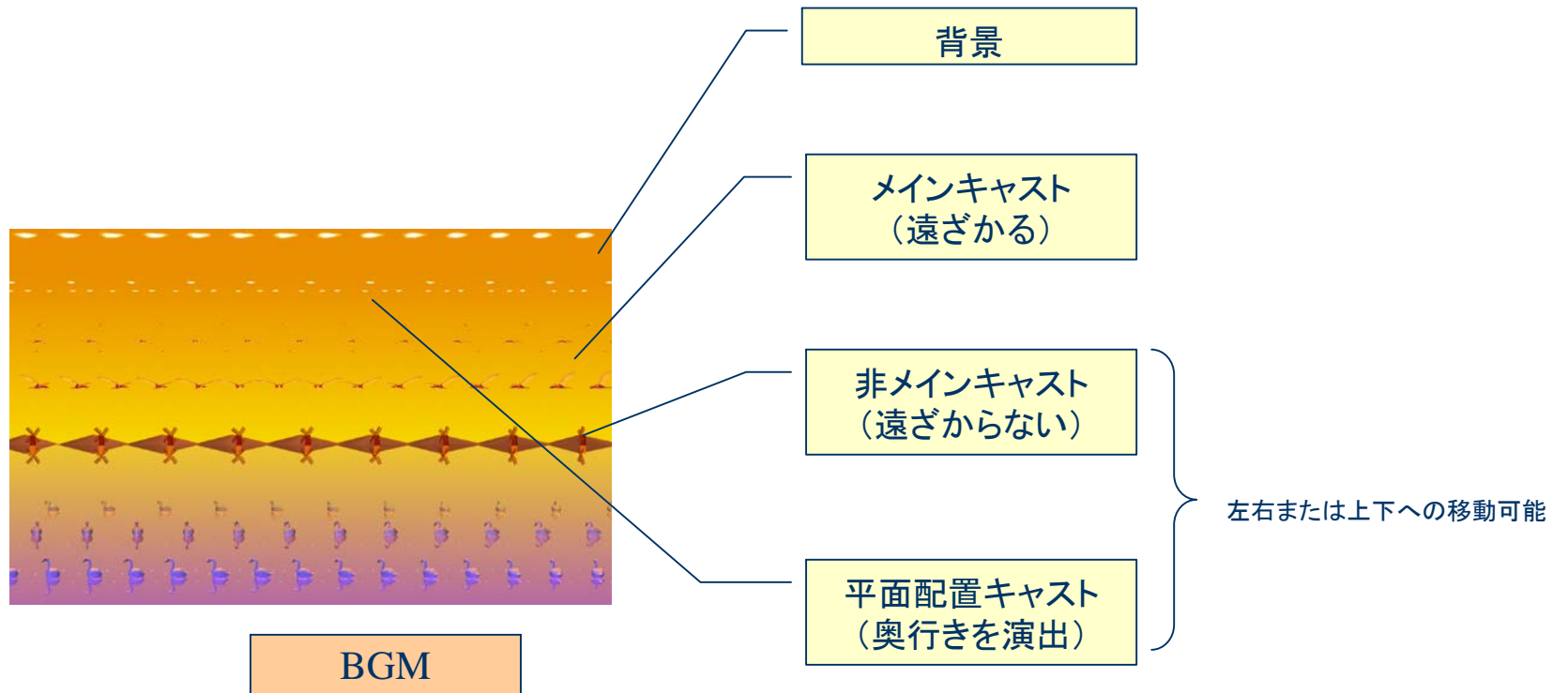
カスタマイズ要素①ーナビ画面

ナビ画面



全面的にデザインを変えられます。
オープニング、エンディング表示なども可能です。

カスタマイズ要素②—映像



映像例



動作条件

- OS: Windows XP SP2以上/ Vista SP1
- CPU: 上記OSが稼動可能なCPU 1GHz以上
- メモリ: 1GB以上
- グラフィック: 32ビットカラー。800x600ドット以上。解像度が高いほど高性能のグラフィックチップが必要となります。
- モニタ: 10～30インチ、横長画面を想定しています。
- ハードディスク: 数百MBの空きが必要です。

上記はあくまで目安です。他のソフトの影響により、意図しない表示になる場合があります。

お問い合わせは

株式会社ソフタシア

広島本社

電話 082-221-5001 代表 廣原(ひろはら)

東京オフィス

電話 03-6240-7215 Producer 泉原(いずみはら)

E-mail : info@softasia.co.jp